

課題になっている行動 (気になる行動)

丁寧になりすぎる 作業に時間がかかる 力が入りすぎる



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

| 環境・状況の要因 | 本人の特性 | 本人の経験や気づきの影響 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 様々な状況の変化 状況の。指示の変化がある ■ 影響を与える刺激や情報 指示が曖昧である ■ 必要な支援がない 本人がイメージできる具体的な 指示がない 正確さとスピードを含めた見通 しが提示されていない □ その他 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 受容コミュニケーション の特性：「丁寧に」「ほど ほどに」の曖昧な指示の理 解が難しい ■ 時間の整理統合の困難 さ：状況にあわせた時間 (スピード)の調整が難し い ■ 関係理解 (意味理解)・ 般化の困難さ：状況にあわ せた質とスピードの調整が 難しい ■ 微細運動・粗大運動：強 弱の入れ方の調整が難しい | <ul style="list-style-type: none"> □ 習慣になっているものがある ■ 自分流の気づき・考え方もつ 自分は丁寧にやっている ■ 過去に経験したこと学んだこと 丁寧にしなさいと言われた経験 丁寧にやって認められた経験 □ 過去に経験したことにより恐怖や嫌 悪感をもっていること |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 行動前の状況※ 「丁寧にしなさい」と指示された 曖昧でわかりにくい指示 | | <ul style="list-style-type: none"> ■ 行動後の状況・結果※ 丁寧にやって褒められた・認められた |

| 活用できる他の資源 | 活用できる本人のスキル | 活用できる本人の気づき |
|------------------------|--|--------------|
| 1対1で相談・教える場面や時 間がある | 具体的な言葉の指示は理解でき る 文章、絵、図解、表、グラフな どの理解がある | 認められたいと思っている |

| 支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります | | |
|--|---|---|
| 環境を変える部分は？ <ul style="list-style-type: none"> ・本人が理解できる文章や図 解、表などを使って伝える。 ・度合いを表グラフなどを使っ てイメージを伝える。 ・1対1の場面・時間で教える | 本人の特性にあわせた支援は？ <ul style="list-style-type: none"> ・本人が理解できる形でスピー ドと正確さ(質)、力の入れ方 などを伝える。 | 本人に伝える・教える部分は？ <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的なイメージとあわせ て、できた部分をフィードバッ クする。事例を繰り返す。 |

解説と支援の方向性について

自閉症の人は、1つのことに集中すると私たちが想像を絶する量と制度を上げるこ
とがあります。しかし、時にそのまじめさが周囲から注意を受けることがあります。
「手をぬくことができずに時間がかかりすぎる」「ほどほどの理解が難しい」「力が
入りすぎる」などです。柔軟さを教えるには、明確でイメージできる指示とポジティ
ブなフィードバック (評価) が必要です。